



# 同和問題啓発強調月間



2022年(令和4年) **7月1日(金)~31日(日)**



## 7月は「同和問題啓発強調月間」です!

出身地などを理由にした就職や結婚に対する差別に加え、近年ではインターネット上での差別書き込みなどの新たな部落差別問題が発生しています。偏見や差別に基づくこうした行為は、他者の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されるものではありません。

部落差別は日本の歴史の中でつくられた固有の人権問題です。添田町ではそのような部落差別をはじめとした一切の差別をなくすため、毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、同和問題に対する正しい知識と認識を深めるため、啓発活動や人権講演会を実施しています。

同和問題の解決には一人ひとりが正しい知識を学び、理解することが大切です。誤った偏見や認識が人権を侵害することにつながるということを自覚しなければいけません。

互いの人権を尊重しあい、心豊かに暮らせる添田町をつくりましょう!

**差別や偏見をしない! させない! 許さない!**



### 人権講演会

演題 **～人権確立社会を求めて～  
変容する現代社会の部落差別**

■日時: 2022(令和4)年7月20日(水)

18:30開場

■場所: オークホール(そえだ公民館)

19:00開演

入場料  
**無料**

手話通訳・  
託児有り  
**無料**

※託児の事前申込みは不要です。

[講師]  
阿久澤 麻理子 先生

大阪公立大学  
都市経営研究科  
人権問題研究センター 教授



主催 添田町/添田町教育委員会/添田町人権・同和教育推進協議会

問合わせ先 添田町教育委員会社会教育課人権同和推進係 TEL 0947-82-5800



### 月間中の取り組み

町内主要箇所に啓発のぼり旗・懸垂幕を設置

町内各所で街頭啓発・職場啓発を実施

同和問題に関わる講演会の開催

防災無線による啓発

月間中において  
左記の取り組みを行いますので、  
町民の皆様のご理解とご協力をお願ひします。



**人権が尊重され、皆さんが安心して暮らせるまちづくりをすすめてみましょう**

# 戦争は最大の人権侵害

ロシアによるウクライナに対する軍事進攻が続いています。一般人の犠牲者は増える一方で、大勢の市民が国外への非難を余儀なくされ、連日、悲惨な映像とともに悲しいニュースが放送されています。

私たちは、20世紀の前半に二度の世界大戦を経験しています。そこから、戦争が人類の生存さえ危うくするものであり、世界平和の実現のためには、世界中全ての人々の人権が尊重されなければならないという貴重な教訓を得ました。

しかし、世界各地では、今もなお、民族や宗教間の対立や偏見・差別が存在し、そのことが新たな紛争を引き起こし、尊い人命が失われています。

戦争や紛争では、人々はさまざまな権利を制約されたり、否定されたりします。さらに、最も基本的な人権の一つである、生存する権利さえも脅かされます。

この意味で、「戦争は最大の人権侵害」と言えます。

私たち一人ひとりが、再び戦争の惨禍は繰り返さないと心に刻み、行動していかなければなりません。



## 平和な世界を目指して



『平和』には、「戦争や紛争が無く、世の中が穏やかな状態にあること」のほかにも、「心配やもめごとが無く、穏やかなこと」という意味が含まれます。平和とは、私たち一人ひとりに関係するものであり、とても身近なものです。

私たちの社会は、人種・性別・年齢・国籍・宗教や信条など様々な要素がそれぞれ異なる人たちによって構成されています。

その要素のどれか一つでもマイナスなイメージに広がってしまうと、不安から心配やもめごとがおき、穏やかな社会生活を送ることが困難になってしまいます。お互いの違いを認めあうことが大切です。

私たち一人ひとりが、自分自身の権利と共に、他人の権利と尊厳についても、深く理解し、「心の平和」を守ること、自らの力で「人権」を守り育てていくことが、平和な世界の実現につながるのではないのでしょうか。

**「差別をしない!/させない!/許さない!」**  
という意識を一人ひとりが態度や行動に表し、  
社会に残るさまざまな差別や不合理な偏見を  
解消していきましょう。

